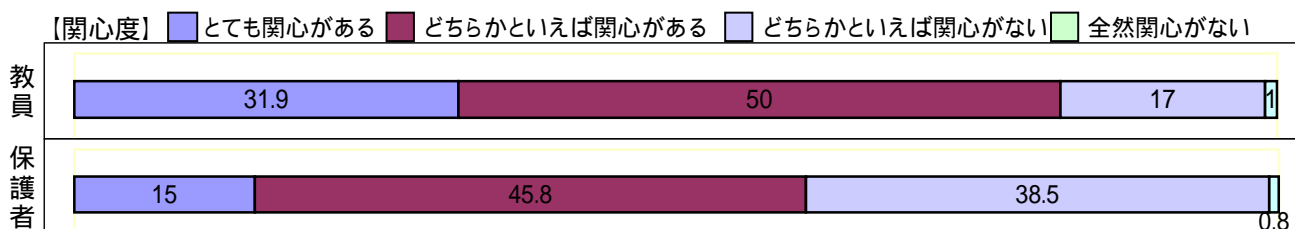
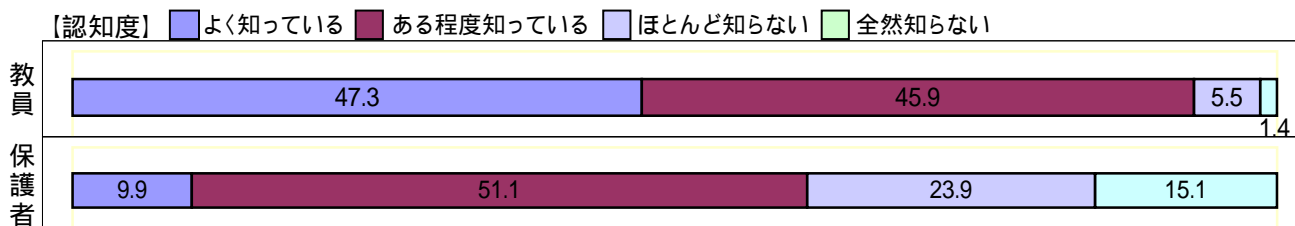


## 小中一貫教育に関するアンケート結果(概要)

新設統合第一小・中学校(仮称)に統合予定の関係5校で実践中の小中一貫教育について、アンケート調査を行い結果を取りまとめました。

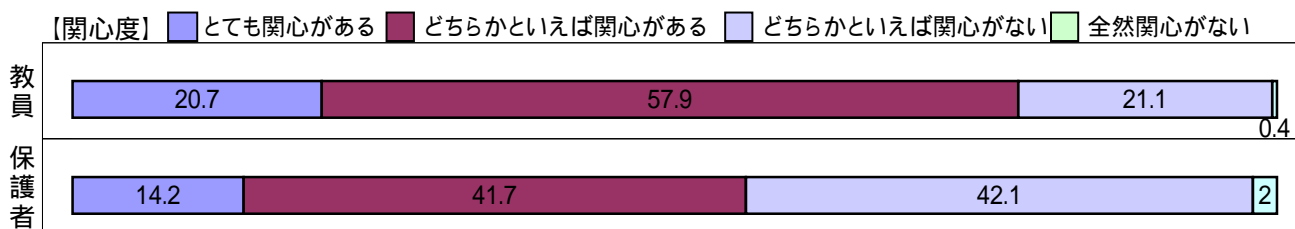
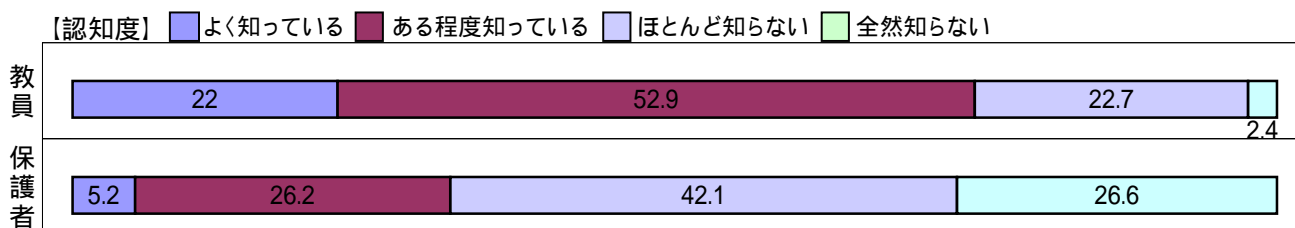
実施対象	平成19年8月 関係5校以外の 幼小中の教員・保護者代表(639名)
回答数	577名 教員(291名), 保護者(285名)

### 1 新設統合第一小・中学校の開校について



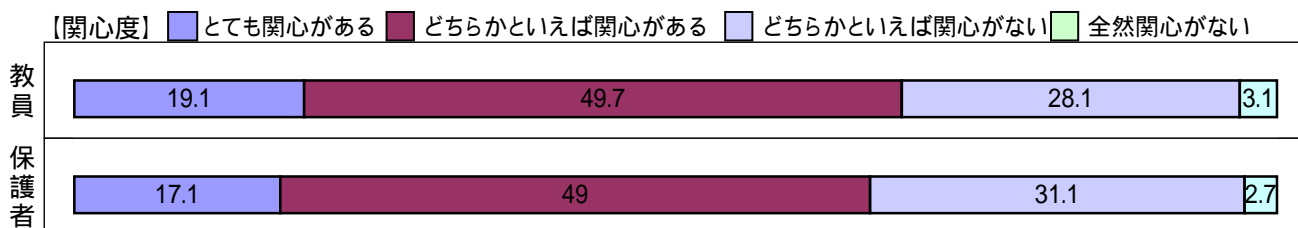
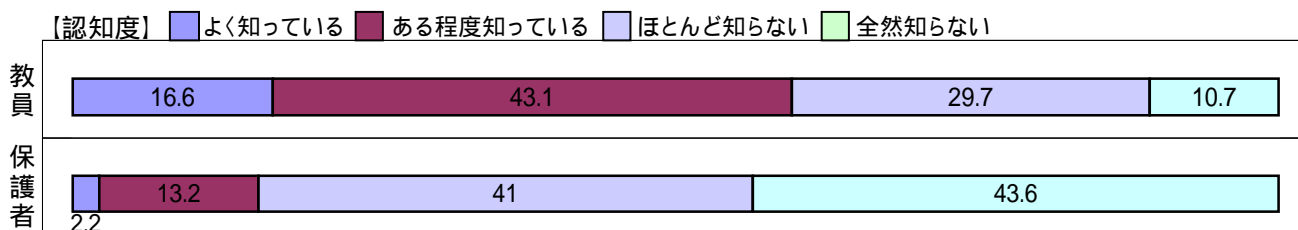
教員の認知度(選択肢のうち「よく知っている」「ある程度知っている」の合計。以下同様)は、90%を超え、関心度(選択肢のうち「とても関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計。以下同様)も、80%を超え、認知度・関心度とも非常に高くなっていることが分かります。  
保護者の認知度・関心度は、教員と比べると低くなっていますが、ともに60%を超えており、保護者も注目していることが分かります。

### 2 小中一貫教育の導入について



教員の認知度・関心度は、ともに約80%と高くなっています。  
保護者の認知度は約30%と低く、半数以上の保護者が知らないと回答しています。関心度は55%を超えており、認知度と比べ高くなっていることが分かります。

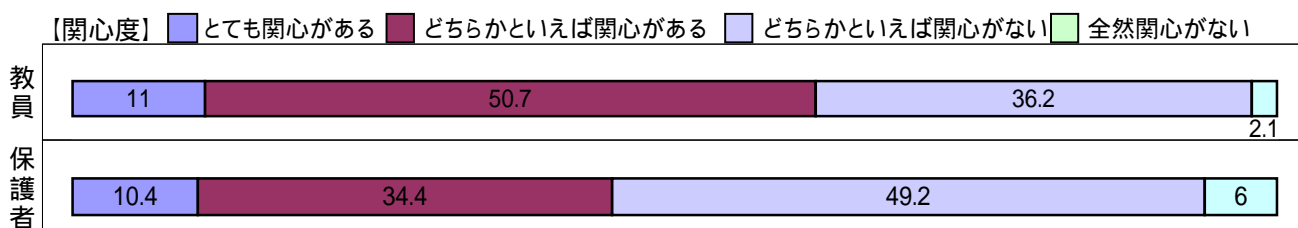
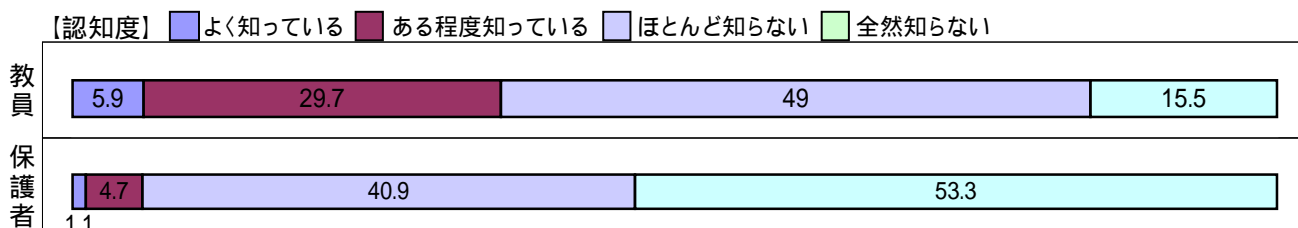
### 3 小学1年からの「英語科」の導入について



教員の認知度・関心度とも60%以上ですが、新設統合第一小・中学校(仮称)の開校や小中一貫教育の導入に比べると、認知度・関心度とも低くなっていることが分かります。

保護者の認知度は約15%で低く、80%以上が知らないと回答していることが分かります。一方、関心度は65%を超えており、設問1～6のうちで最も高く、保護者の低学年からの英語教育への関心の高さを示していることが分かります。小学校における英語教育への意欲的な取組が望まれます。

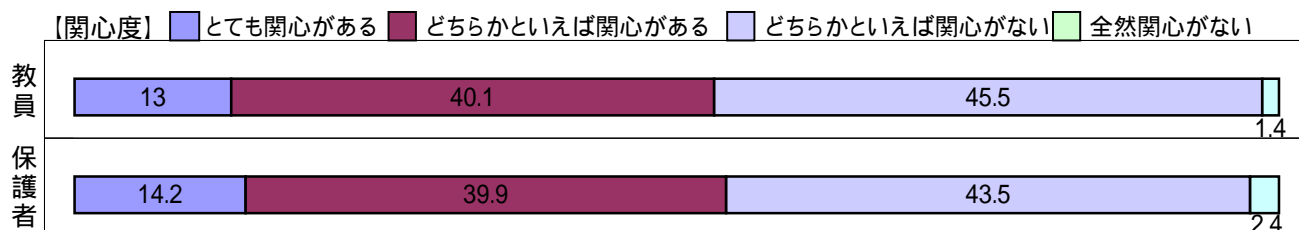
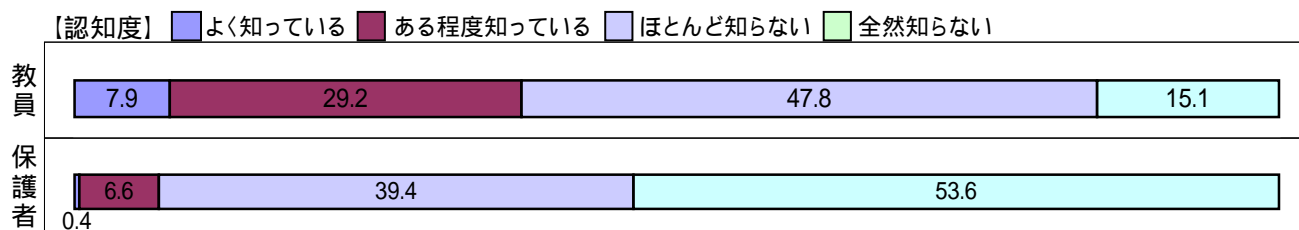
### 4 新設教科「高松みらい科」について



教員の認知度は約35%と低く、60%以上が知らないと回答しており、「高松みらい科」の認知度は、小学校1年からの「英語科」より低いことが分かります。関心度は60%以上と高く、環境教育・キャリア教育への関心度の高さを示していることが分かります。

保護者の認知度は約6%と非常に低く、90%以上が知らないと回答しています。一方、関心度は約45%であり、認知度比べて高く、保護者の高松みらい科における環境教育・キャリア教育への関心の高さを示していることが分かります。

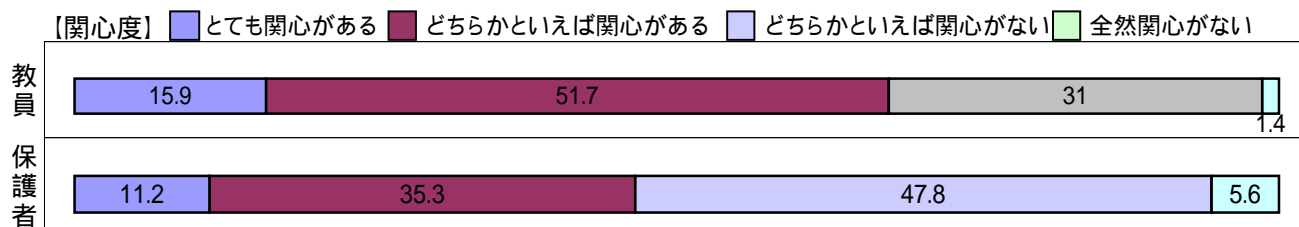
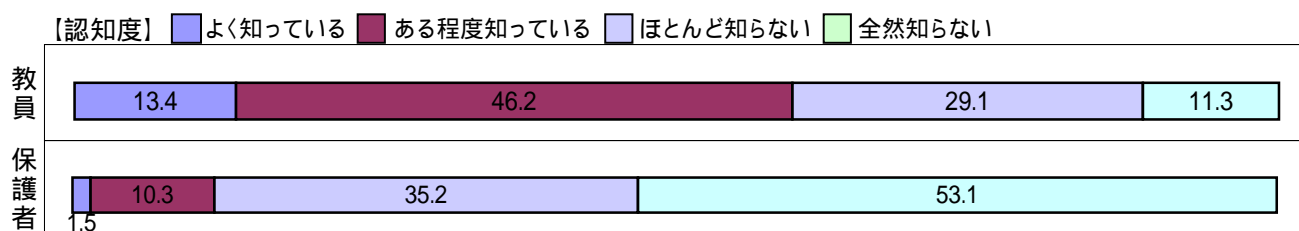
## 5 授業時間数週当たり1時間増加について



教員の認知度も40%に届かず、60%以上の教員が知らないと回答しており、「高松みらい科」と同様に低くなっていることが分かります。関心度は50%を超えているものの、「どちらかといえば関心がない」が一番高くなっていることが分かります。

保護者の認知度も約7%と非常に低く、関心度は約55%と教員と同程度となっています。

## 6 小学校高学年における一部教科担任制について

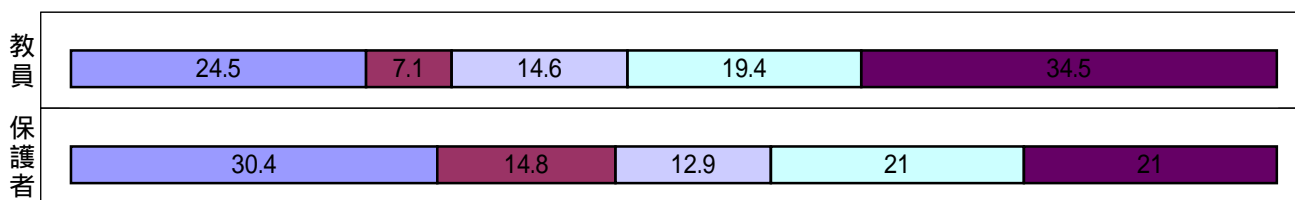


教員の認知度は約60%で、関心度も約70%とさらに高くなっており、子どもたちの興味・関心に応える専門性のある学習や、小中連携の必要性を感じていることが分かります。

保護者の認知度は約10%と低く、80%以上の保護者が知らないと回答しています。関心度は45%を超え高くなっています。

## 7 小中一貫教育で関心の高いもの2つ

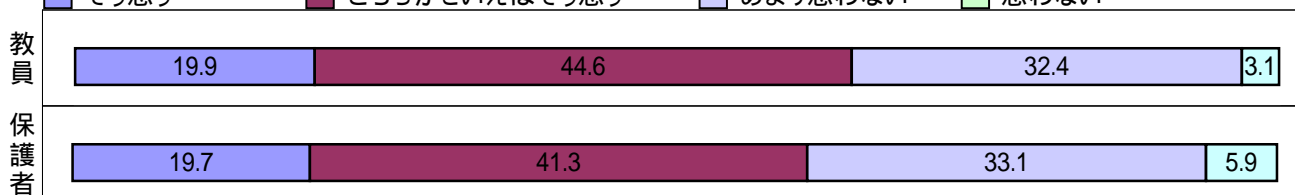
- 小学校1年からの「英語科」
- 環境教育
- キャリア教育
- 授業時間数の週当たり1時間の増加
- 小学校高学年での一部「教科担任制」



教員の1番関心が高いものは「小学校高学年における一部教科担任制の導入」で約35%、2番目が「小学校1年生からの英語科の導入」で約25%となっています。  
 保護者は1番関心が高いものが「小学校1年生からの英語科の導入」で約30%、2番目が「週当たり1時間の授業時間数増」と「小学校高学年における一部教科担任制の導入」で約20%となっています。

## 8 小中一貫教育の成果を他校へ波及すべき

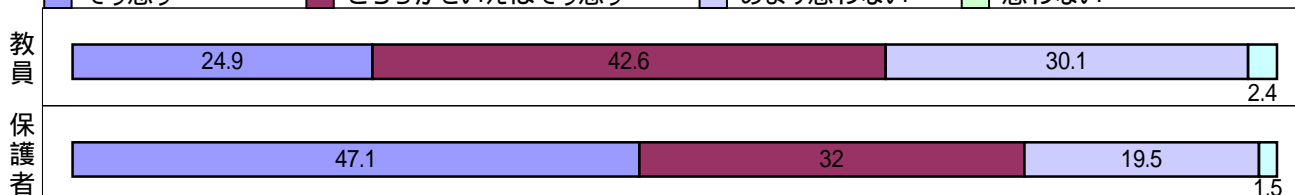
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまり思わない
- 思わない



教員は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると約65%と高くなっています。  
 保護者も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると約60%と高くなっています。  
 両者の大きな違いは見受けられません。

## 8 学校間で教育内容に違いが生じるのは問題

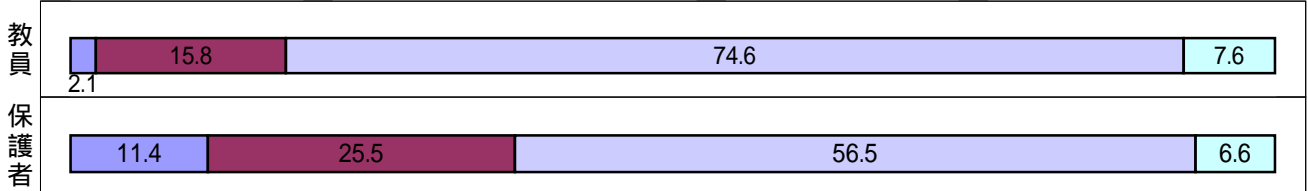
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまり思わない
- 思わない



教員は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると65%を超え高くなっています。  
 保護者も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると約80%と高くなっています。  
 教員より保護者の方が、問題であると回答していることが分かります。

### 8 新設校の校区への転居が多くなる

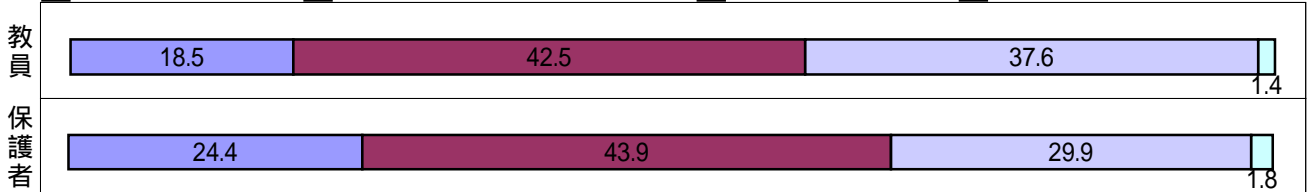
■ そう思う    ■ どちらかといえばそう思う    ■ あまり思わない    ■ 思わない



教員は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせても20%に届かず低くなっています。  
 保護者も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて約35%と低くなっています。  
 教員より保護者の方が、「そう思う」と回答している割合は高いものの、両者とも「あまり思わない」が50%を超えて高くなっています。

### 8 転出入する児童生徒の学習に支障が生じる

■ そう思う    ■ どちらかといえばそう思う    ■ あまり思わない    ■ 思わない



教員は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると50%を超え高くなっています。  
 保護者も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて約70%と高くなっています。  
 教員より保護者の方が、支障が生じると回答している割合が高く、総じて、これの対策が求められるといえます。

### 【課題と対策】

#### 小中一貫教育の学習内容や指導方法等についての見直し・改善の実施

・今年度の実践結果を検証し、平成21年度「中学校の統合」、平成22年度「新設統合第一小・中学校(仮称)の開校」に向け、学習内容や指導方法等についての見直し、改善を行い、よりよい小中一貫教育のカリキュラム・指導法等の研究を進めていきます。

#### 情報の積極的公開

・小中一貫教育の計画や実践に関する情報を、新設統合校整備室のホームページや、「整備室だより」、また関係5校で発行しています広報誌「みらい」等で、市民・地元住民はもとより、市内の教職員や、保護者にも積極的に提供していきます。

#### 可能な内容・指導法等の他校への波及

・現在関係5校で実施している内容、また今後実施予定である学習内容や指導方法等のうち、他校への波及可能な内容について検討し、可能な範囲で市内各校への波及に努めていきます。